



2019年度 3学区 公立高校入試出願状況

学校名	学科	定員	志願者数			倍率 (変更後)	昨年倍率	第2志願		
			変更前	変更後	変更数			変更前	変更後	変更数
加古川東	普通	280	377	377	0	1.35	1.28	0	0	0
加古川西	普通	246	274	274	0	1.11	0.97	195	195	0
高砂	普通	200	204	203	-1	1.02	0.79	206	205	-1
高砂南	普通	200	208	208	0	1.04	1.42	128	126	-2
松陽	普通	102	170	158	-12	1.55	1.11	246	246	0
東播磨	普通	200	214	214	0	1.07	0.89	162	160	-2
播磨南	普通	160	192	190	-2	1.19	1.14	378	373	-5
加古川北	普通(単)	140	113	113	0	0.81	1.14	179	180	1
加古川南	総合	121	124	124	0	1.02	0.92	109	110	1
松陽	商業	20	23	30	7	1.50	1.20	-	-	-
	生活文化	20	32	31	-1	1.55	1.10	-	-	-
明石	普通	243	225	225	0	0.93	1.13	121	122	1
明石北	普通	280	337	336	-1	1.20	1.13	84	83	-1
明石城西	普通	280	310	310	0	1.11	1.00	179	180	1
明石清水	普通	280	252	251	-1	0.90	1.13	425	427	2
明石西	普通	240	310	310	0	1.29	1.25	268	265	-3
西脇	普通	218	202	199	-3	0.91	1.03	106	106	0
三木	普通	200	221	220	-1	1.10	1.01	96	92	-4
三木北	普通	136	97	97	0	0.71	1.17	190	203	13
小野	普通	200	237	232	-5	1.16	1.02	19	20	1
吉川	普通	108	79	76	-3	0.70	0.81	102	96	-6
社	普通	102	128	121	-7	1.19	1.01	143	139	-4
多可	普通	64	61	60	-1	0.94	0.60	73	70	-3
北条	普通	80	77	76	-1	0.95	0.97	46	45	-1
明石南	総合	140	192	192	0	1.37	1.10	271	268	-3
三木東	総合	100	137	133	-4	1.33	1.34	193	185	-8

学校名	学科	定員	志願者数			倍率 (変更後)	昨年倍率
			変更前	変更後	変更数		
西脇	生活情報	20	20	21	1	1.05	0.85
小野	商業	20	16	20	4	1.00	1.05
	国際経済	20	9	14	5	0.70	1.00
社	生活科学	20	5	16	11	0.80	1.10
農業	農業	20	24	26	2	1.30	1.55
	園芸	20	25	26	1	1.30	1.50
	動物科学	20	21	22	1	1.10	2.00
	食品科学	20	23	23	0	1.15	1.25
	農業環境工学	23	20	30	10	1.30	1.35
	造園	20	39	28	-11	1.40	1.50
	生物工学	20	25	26	1	1.30	1.40
播磨農業	農業経営	22	25	23	-2	1.05	0.95
	園芸	20	29	23	-6	1.15	0.90
東播工業	畜産	20	12	23	11	1.15	1.00
	機械	41	41	43	2	1.05	1.40
	電気	40	46	45	-1	1.13	1.40
	建築	22	31	29	-2	1.32	1.65
西脇工業	土木	20	30	25	-5	1.25	1.70
	機械	40	34	39	5	0.98	1.00
	電気	21	15	18	3	0.86	1.00
	工業化学	20	25	19	-6	0.95	1.05
小野工業	情報・繊維	22	18	20	2	0.91	1.00
	総合技術	20	16	16	0	0.80	1.05
	工業	60	75	69	-6	1.15	1.40
明石商業	商業	120	139	139	0	1.16	1.37

【状況分析】 加古川西・東播磨1クラス定員減

①加古川東高校に志願が集中

志願者数が激増。兵庫県の中でもダントツ。

募集定員は昨年 40 名減ったものの、募集人数に対する受験者数も年々うなぎのぼり。



	募集人数	受験者人数	倍率
2019	280	377	1.35
2018	280	358	1.28
2017	320	397	1.24
2016	320	375	1.17

☆人気の理由

1. 進学実績が高い
2. 楽しそう(オープンハイスクールでの感想)
3. 校風がいい(学力向上に積極的)
4. 部活動がさかん(文武両道)



- ②松陽・播磨南に例年に比べ志願者が多い。
- ③加古川北高校が定員割れするなど、中堅高校の志願者が少ない。
- ④ここ3年のうち2年も定員割れした加古川西高が、1クラス減の影響もあり28名もの定員オーバー。
- ⑤県農・東播工業など職業科高校への志願者が少ない。(志願変更の規制の影響か?)

合格発表は3/19 (火)

【出題傾向】 毎年エクシードの受験生の平均点は県平均より5~6点上回っています。

国語

問題は平易。国語は受験生にとってはポイントゲットできる科目。(ちなみに昨年度のエクシードの受験生の平均点は63.0点)

ただ大問1は例年と傾向が違い、生徒会の話し合いと資料を読み取る問題が出された。でもこれは落ち着いて取り組みれば比較的解きやすい。

その他は昨年と同様、古文・漢文・説明的文章・小説文で構成されている。



数学

大問は昨年の7題から6題になったが、内容は昨年と同様。(昨年度のエクシードの受験生の平均点は55.7点)

車の走行距離や燃料がなくなるまでの時間を考えるなどの現実的な問題も出題された。

社会

出題のバランスは昨年と同じ。地理と歴史が各35点、公民が30点。(昨年度のエクシードの受験生の平均点は68.5点) 上位高校を目指すなら、90点以上は取りたい。

基本的な問題が多く、公民では地方自治と社会保障制度など身近な問題が出題された。

理科

出題のほとんどは、符号で答える問題だが、浅い理解度では正解できない。兵庫の理科の問題は全国でも屈指の難しさ。学校で習っていない実験図が出題されるなど予測がつかない科目と言える。昨年度のエクシードの受験生の平均点は34.4点で、加古川東合格の受験生でも40点しか取れない最悪の出来だった。この反動もあって今年は50点近くの平均点になるような問題構成となっている。しかし、グラフを活用して解答したりするなどのデータ処理を問う問題などもあり、受験生にとっては難解な科目であることには違いない。

英語

大問の数は減ったが、英文数が増え、問題数は増加した。毎年得点源となる英文並び替えの問題がなくなり、文法知識を問う問題に変更された。

特に対話文が難解となり、単語のレベルも高くなり、速く正確に読み取る読解力が要求された。

昨年度のエクシードの受験生の平均点は52.9点だが、これより下がることが予想される。



絶対合格!



19'EXCEED 春期講習

期 間 3月22日(金)~4月4日(木)《計12日間》

いよいよ新学年の始まりです。特に中学校の教科書は、改訂前から教科平均 47%も増え、ページ数も約 1.5 倍増となり、学習内容の難易度もグッと上がってきました。だからこそ、この春休みでは、前学年の積み残しを無くしておくことが大切です。

できない教科・わからない箇所は人それぞれ違います。エクシードの春期講習では、前学年のつまづきをチェックし、苦手部分を徹底補強、克服する効率的な学習を行います。皆さんは自分のテーマを決め、前学年の完全理解を目指しましょう。

”誰よりも三倍、四倍、五倍勉強する者、それが天才だ。”(野口英世)

勉強ができる人は見えないところでコツコツと、人の何倍も勉強をしているのです。勉強には才能などほとんどありません。受験においては努力が直接、才能につながってくるものだと思います。

”小さいことを重ねることがとんでもないところに行くただ一つの道だ。”(イチロー)

